

講義コード	11C0117600	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	浅子 和美	開講期	第1期
科目名	金融論Ⅰ					浅子 和美		第1期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	金融と金融政策の基礎的理論や日本経済の現状を理解し、ミクロ・マクロ両面からの日本経済を見る眼を養う。								
到達目標	金融と金融政策の基礎的理論や日本経済の現状認識をベースにして、ミクロ・マクロ両面から日本経済の課題を理解し、自ら最善に対処する。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	参考書や指定された資料の該当箇所を事前に読み、授業中にとったノートをチェックするなど、予習・復習を合わせて60時間以上の授業外学修を行うこと。								
授業計画	【第1回】物々交換経済から貨幣経済へ：貨幣の3つの機能 【第2回】貨幣の流通：世代重複モデルによる説明（1） 【第3回】貨幣の流通：世代重複モデルによる説明（2） 【第4回】貨幣の中立性：古典派の2分法 【第5回】2分法の崩壊：貨幣数量説 vs 流動性選好説 【第6回】金融（資金貸借）とバレート改善 【第7回】間接金融（金融仲介）と直接金融 【第8回】情報の非対称性とエージェンシー・コスト 【第9回】モラル・ハザードと逆選択（1） 【第10回】モラル・ハザードと逆選択（2） 【第11回】金融取引のリスク：（1）資産選択理論 【第12回】金融取引のリスク：（2）企業ファイナンスとMM理論 【第13回】金融取引のリスク：（3）不確実性と設備投資 【第14回】銀行破綻と金融システム不安 【第15回】まとめ								
成績評価の方法	授業中に行う3回ないし4回の小テストと、期末試験の結果による。小テストは授業中の受験が鉄則であり、レポート等による代替は受け付けない。								
フィードバックの内容	小テストの結果は速やかに講評する。								
教科書									
指定図書									
参考書	『入門・日本経済（第5版）』浅子和美・飯塚信夫・篠原総一（編）（有斐閣）2015年								
教員からのお知らせ	講義で取り上げるテーマは一部で流動的な要素が残っており、変更される場合もある。教科書の指定は、授業開始後に指示する。								
オフィスアワー その他	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。								